

やすらぎの城下町丹波ささやま



- 県立自然公園多紀連山
- 鐔田ダム

- みたけ会館
- レンタサイクル
- 駐車場
- トイレ
- 車いすトイレ
- ガソリンスタンド
- EV充電スタンド (24時間対応)
- 薬局
- スーパーマーケット
- 銀行
- 郵便局
- 信号
- バス停
- 宿
- みやげもの店
- 食事処
- 喫茶店
- 桜の名所
- 紅葉の名所
- 国重要伝統的建造物群保存地区

青山台ゴルフ倶楽部

国道173号線

国道173号線 → 池田・亀岡・園部



バス	神姫グリーンバス篠山営業所	丹波篠山市糯ヶ坪	(079)552-1157
タクシー	日本交通篠山営業所	丹波篠山市大沢	(079)594-1188
	篠山観光案内所	丹波篠山市北新町97	(079)552-3380
レンタサイクル	JR篠山駅(東口)	丹波篠山市大沢	(079)594-2757
	ユニットピアささやま	丹波篠山市矢代231-1	(079)552-5222

駐	● 三の丸西駐車場	
車	普通乗用車	平日1回 200円
		土日祝1回 400円
	大型車	1回 1,000円
料	● その他駐車場	
金	普通乗用車のみ	1時間 無料
		2時間 200円
		1日 400円

2022年7月～

多紀連山をはじめとする山々に囲まれた丹波篠山は、篠山盆地の中心にあり、そこには数千年の昔より人々の生活が営まれていました。古墳時代には、雲部車塚古墳の存在からもわかるように、中央と直結した豪族がいたことは明らかです。

大化年間（645～9）には、空鉢仙人が開創したと伝えられる大國寺と、そこに安置されている5体の仏像(重文)からは、奈良時代から中世にかけて仏教を中心とした高度な文化が栄えたことがわかります。

中世の終わりには、波多野氏が八上城(高城山)を拠点として丹波一帯に勢力をもっていました。天正3年(1575)頃から、織田信長の命を受けて丹波攻めを行った明智光秀により、天正7年(1579)6月に落城したといわれます。

慶長14年(1609)、徳川家康の命により、天下普請で「笹山」という丘陵地に築城されたのが篠山城です。

城下町として京文化の影響を受けながら丹波の都として栄え、丹波の気候・風土の中で独特の発展をとげました。

今なお、学術的にも美術工芸的にも優れた文化遺産を今に伝えており、二つの日本遺産に認定されています。

1 篠山城跡

別名桐ヶ城。1609年に徳川家康が豊臣氏の大坂城と西国大名を抑えるために築城を命じた城。築城の名手藤堂高虎の縄張を元に築かれた平山城で、15ヶ国20の大名の夫役を命じ、総勢8万人を動員させて、わずか6ヶ月で完成。初代当主は家康の次子と言われている松平康重。14代藩主青山忠敏の時に版籍奉還となる。

「日本100名城」に選定され、桜の名所としても知られている。南の馬出は、土塁馬出として全国唯一のものである。

2 篠山城大書院

篠山藩の公式行事に使用された建物。木造建築物としては壮大な規模の建物で、現存する同様の建物としては京都二条城の二の丸御殿の一棟に類似している。一大名の書院としては破格の規模と古式の建築様式を備えたものであった。当時のものは1944年に火災により焼失し2000年に再建された。

- 月曜日休館(祝祭日は開館、翌日休館)
- 入館料 大人400円 ●開館時間 9:00～17:00
- 4館共通券は600円(大書院・安間家史料館・青山歴史村・歴史美術館)
- 歴史美術館特別展の際は共通券料金変更有 ●住所:北新町2-3

3 青山歴史村・丹波篠山デカンショ館

篠山藩主青山家の別邸であった建物を中心とし江戸時代の歴史文化を物語る、全国的にもほとんど残存していないとされる史料の数々を展示。デカンショ館では日本遺産に認定されたデカンショ節を通して丹波篠山の文化財や見どころの情報を発信している。

- 月曜日休館(祝祭日は開館、翌日休館)
- 入館料 大人300円 ●開館時間 9:00～17:00 ●住所:北新町48

4 武家屋敷安間家史料館

篠山藩のお徒士衆(藩主の護衛にあたる)の家屋で、家具や食器、篠山藩ゆかりの武具を展示。

安間家史料館のある御徒士町武家屋敷群は、国重要伝統的建造物群保存地区であり、土堀に囲まれた街並みが江戸時代末期の雰囲気を残している。

- 月曜日休館(祝祭日は開館、翌日休館)
- 入館料 大人200円 ●開館時間 9:00～17:00 ●住所:西新町95

5 城郭の一角をなす寺々

城下町の造営(都市計画)は篠山城の築城と深い関わりがあり、特に寺院は、兵たちの参集施設、武官の陣所としての機能を多分にもっていた。旧八上城下からの名利も新城下の要所に移築され、軍事的な効果をねらった寺院配置は見事である。

- ・誓願寺▶山門は、一部修理した箇所はあるものの、室町時代に創建されたままの貴重な建造物である。 ●住所:魚屋町45
- ・尊寶寺▶山門には、立派な彫刻の唐獅子が挙げられており、1807年に起きた大火を吹き消したという伝説が残る。 ●住所:立町141

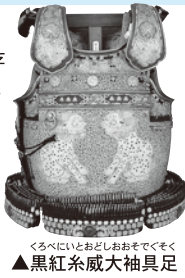
6 大正ロマン館

旧篠山町役場。1923年建築当時は、篠山の町では最もモダンな建物であった。明治・大正の代表的な洋風建築として価値あるものである。現在は観光の中核施設として活用されている。 ●住所:北新町97

7 歴史美術館

1891年建設され1981年まで使われていた、現存する木造裁判所としては日本最古級のもの。曳家工法により建物の向きを90度変え、保存のために美術館として改築。丹波篠山に伝わる武具・美術品・王地山焼・埋蔵文化財を展示している。

●月曜日休館(祝祭日は開館、翌日休館)
●入館料 大人300円 ●開館時間 9:00～17:00
●秋の特別展は入館料変更有。日程・料金は問合せを。
●住所:呉服町53



8 春日神社

876年奈良の春日神社のご分霊を受けたのがはじまり。篠山城築城の際にこの土地へ移された。篠山藩主が寄進した能楽殿には反響効果に丹波焼を埋め込んであり、現在も能楽ファンが多く訪れる。秋祭りには9基の山鉦巡行、8台の太鼓みこしの練り歩き、4社のみこし渡御がおこなわれる。絵馬殿には「黒神馬」「大森彦七南朝の雄魂に悩まされる図」など名作も展示されている。 ●住所:黒岡75



9 丹波杜氏酒造記念館

丹波杜氏は最盛期には五千有余人が灘五郷をはじめ全国各地、遠くは中国・満州まで酒造りに出ている。酒造技術の近代化によって失われつつある酒造用具類や資料など、昔の酒造りの工程を中心に展示している。デカンショ節の一節♪「灘のお酒はどなたがつくるおらが自慢の丹波杜氏」 ●11月～3月の土日祝と年末年始は休館 ●入館料 100円 ●開館時間 10:00～17:00(土日祝は16:00) ●住所:東新町1-5

10 鳳鳴酒造ほろ酔い城下蔵

1797年創業の酒蔵を開放。実際に使っていた道具の展示や、清酒の製造工程を紹介している。国の有形文化財(建物)登録。 ●火曜日定休(都合により見学できない日時もあり。)
●見学無料 ●開館時間 9:30～17:00 ●住所:呉服町46

11 河原町妻入商家群

国重要伝統的建造物群保存地区。東西約700mの通りに商家や土蔵が建ち並ぶ。家並は妻入商家に代表される、5～8m程の狭い間口と40m以上の深い奥行きが特徴で、往時の姿を今に伝える、素晴らしい景観となっている。

12 王地山まけきらい稲荷

勝利守護の神様として必勝祈願の参拝者が多く訪れる。春は桜、秋は紅葉の美しさでも知られている。 ●住所:河原町92

13 王地山陶器所

王地山焼は江戸末期に篠山藩主が京都の名工 欽古堂亀祐を招き指導させ、青磁・染付・赤絵を主とした磁器の藩窯であった。廃藩とともに廃窯となったが、120年の時を経て1988年に復興。 ●火曜日休館 ●開館時間 9:00～17:00 ●住所:河原町431

14 丹波古陶館

兵庫県文化財に指定された「古丹波コレクション(312点)」をはじめ、平安末期～江戸末期の約700年間に作られた品々を展示した丹波焼の美術館。 ●月曜日休館(祝祭日は開館、翌日休館) ●入館料700円 ●開館時間 10:00～16:30 ●能楽資料館との共通入館券 1,000円 ●住所:河原町185



15 篠山能楽資料館

城下町篠山に伝わる能楽の資料をはじめ、全国から収集した能面、装飾、楽器などを常設で展示公開している。 ●月曜日休館(祝祭日は開館、翌日休館) ●入館料700円 ●開館時間 10:00～16:30 ●丹波古陶館との共通入館券 1,000円 ●住所:河原町175



■観光案内をご希望の方には、ボランティアガイドがご案内いたします。(交通実費千円要)。お申し込みは所定の申込書を 14 日前必着で篠山観光案内所まで。TEL (079) 552-3380

丹波篠山市観光協会 TEL (079) 506-1535

篠山観光案内所 TEL (079) 552-3380 北新町97

篠山口駅観光案内所 TEL (079) 590-2060 大沢165-1

ぐるり!丹波篠山 検索 https://tourism.sasayama.jp



丹波篠山観光サイト
ぐるり!丹波篠山

発行／丹波篠山市観光協会◎
※掲載内容が変更される場合がございます。お問い合わせ下さい。